

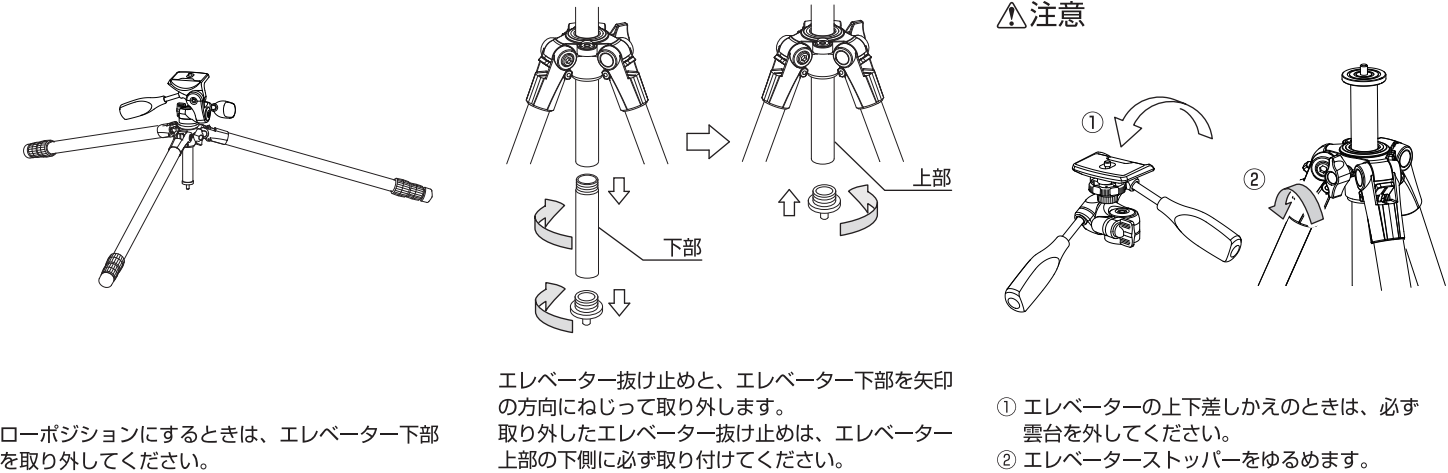
エレベーターの使い方



雲台に手をそえてエレベーターストッパーをゆるめます。
雲台を上下させて位置が決まったら、手を離す前にしっかりとストッパーを
ロックしてください。

ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。
また、脚は太いパイプを優先してお使いください。

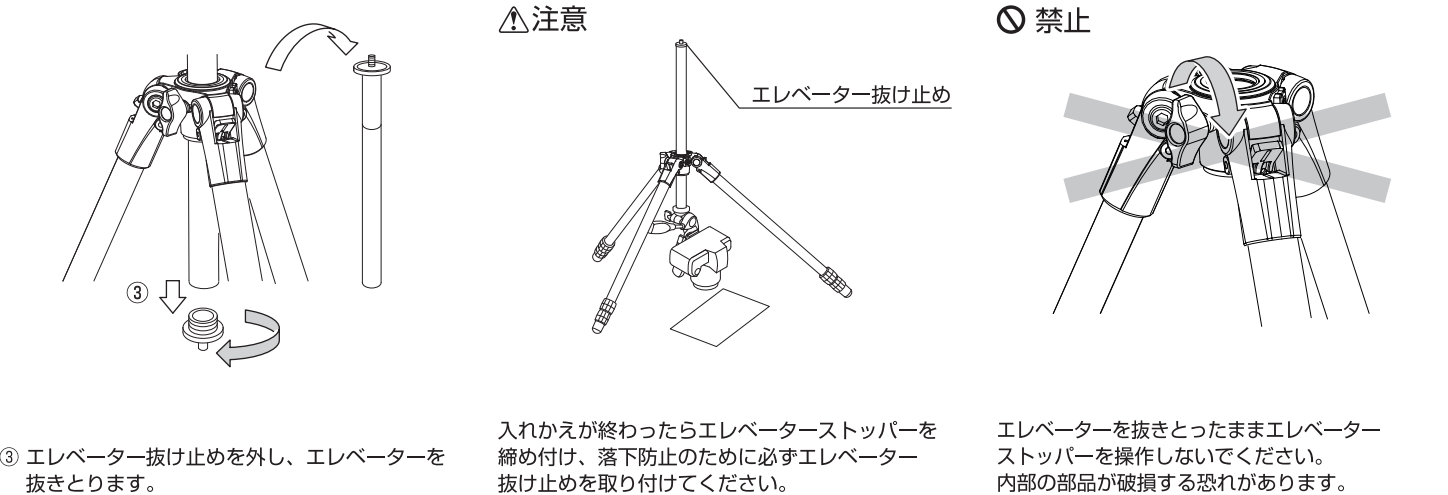
ローポジション



ローポジションにするときは、エレベーター下部
を取り外してください。

エレベーター抜け止めと、エレベーター下部を矢印
の方向にねじって取り外します。
取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター
上部の下側に必ず取り付けてください。

① エレベーターの上下差しかえのときは、必ず
雲台を外してください。
② エレベーターストッパーをゆるめます。

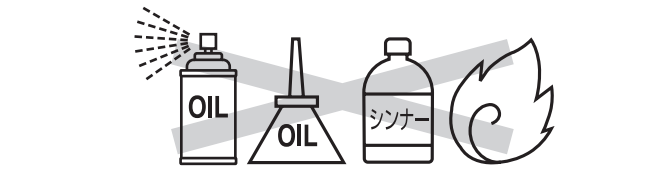


③ エレベーター抜け止めを外し、エレベーターを
抜きとります。

入れかえが終わったらエレベーターストッパーを
締め付け、落下防止のために必ずエレベーター
抜け止めを取り付けてください。

エレベーターを抜きとったままエレベーター
ストッパーを操作しないでください。
内部の部品が破損する恐れがあります。

禁止



• 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。
破損、故障の原因となります。
可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店または
アフターサービスへご依頼ください。
• 火に近づけないようにしてください。
夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

• よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。
その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

* 改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。
©2024 SLIK CORPORATION

SLIK®

ライトカーボンシリーズ
E83 II, E84 II, E84H II

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことに
ありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき
正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは
必ず保管し、わからないときには再読してください。

注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり
物的損害の発生が想定される内容です。

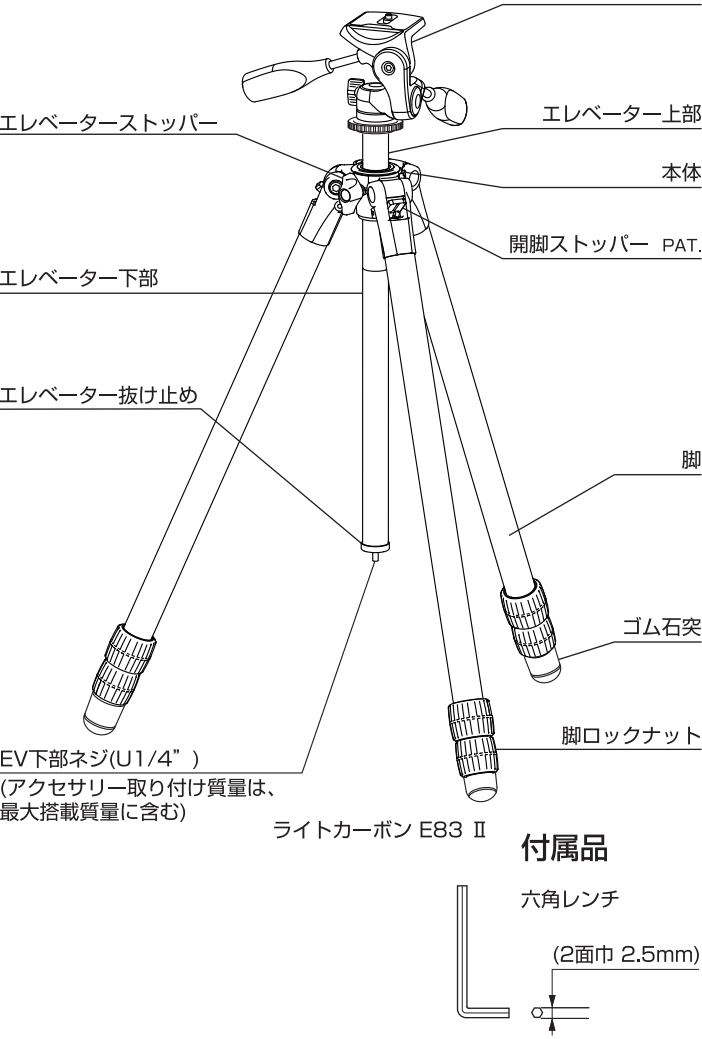
禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

仕様

ライトカーボン E83 II	
縮長	675 mm
全高	1,845 mm
EVスライド	355 mm
質量	1,925 g
ライトカーボン E84 II	
縮長	555 mm
全高	1,775 mm
EVスライド	330 mm
質量	1,970 g
ライトカーボン E84H II	
縮長	710 mm
全高	2,290 mm
EVスライド	355 mm
質量	2,130 g
	三脚ケース付

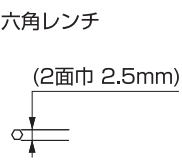
Y011

各部名称

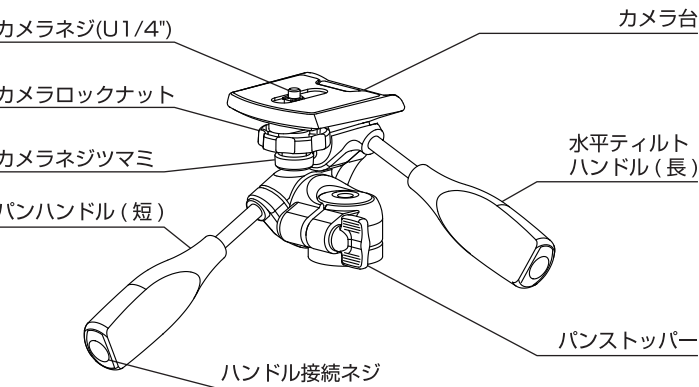


EV下部ネジ(U1/4")
(アクセサリー取り付け質量は、
最大搭載質量に含む)

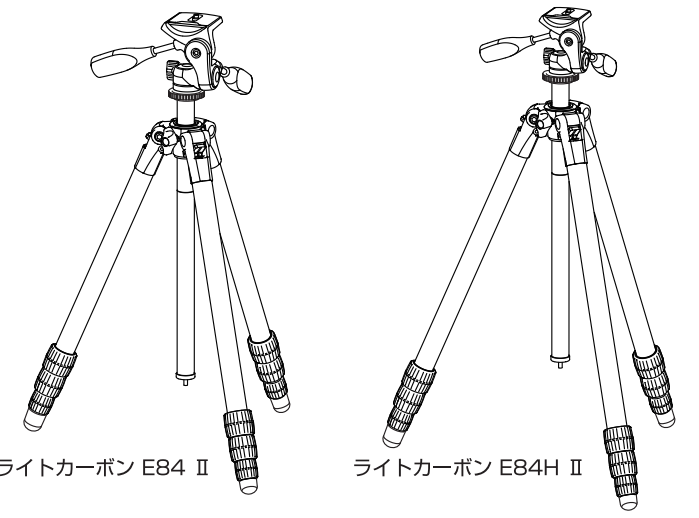
付属品



雲台



禁止
パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。



搭載する機材

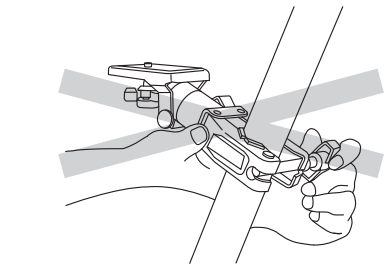
禁止

最大搭載質量：5kg

これ以上の機材は載せないでください。
また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置
によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの三脚をお使い
ください。

クランプヘッド

禁止



パイプが破損する恐れがありますので、別売の
クランプヘッドはカーボン三脚には使用しないで
ください。

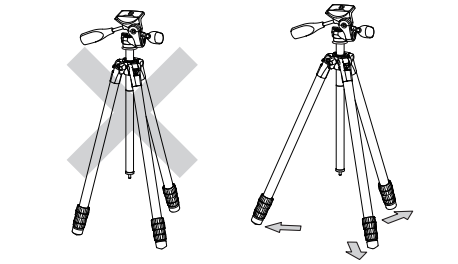
衝撃のあった時

注意

三脚が転倒するなど衝撃が加わった場合は、
パイプにひび割れが入っていないか確認して
ください。
キズ、割れ等が見つかった場合は、ただちに
使用を中止し修理を依頼してください。
カーボン繊維が出ている場合は、ケガをする恐れ
があります。
直接ふれないようご注意ください。

機材のセットアップ

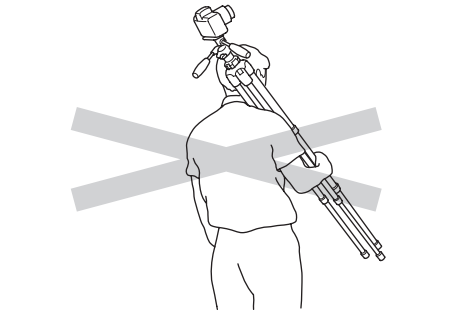
⚠ 注意



カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。
また、3本の脚を十分に開いてください。
脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

持ち運びのとき

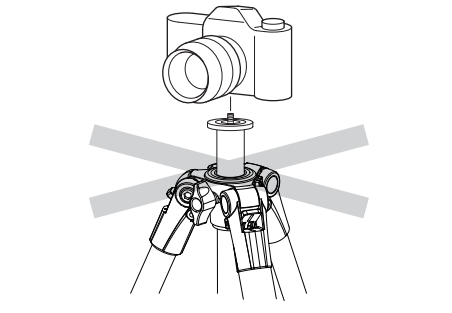
⊘ 禁止



カメラは三脚や一脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

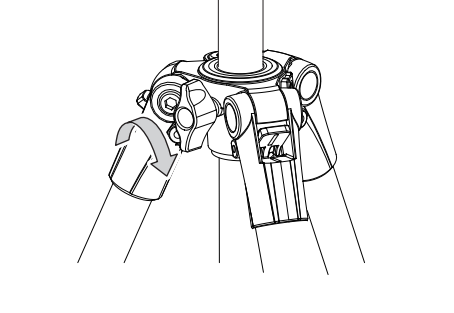
雲台取り付けネジ

⊘ 禁止

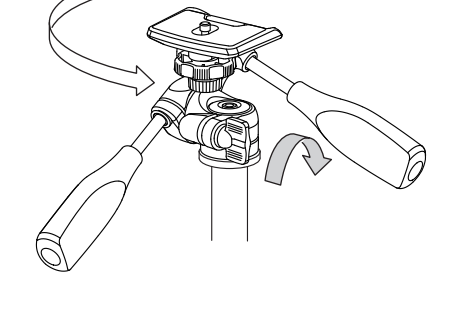


カメラを直接エレベーターに取り付けると、故障の原因になります。
必ず雲台などを介して取り付けてください。

雲台の取り外し

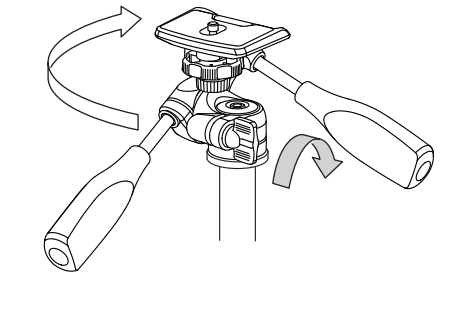


他の雲台やアクセサリーをこの脚に取り付けるときは次の方法で交換してください。
初めに三脚のエレベーターストッパーを締め込みます。



次に、雲台のパンロックノブをしっかりと締め込みます。
パンハンドルと水平ティルトハンドルを握って力強く雲台を反時計まわりにまわすと雲台がゆるみます。

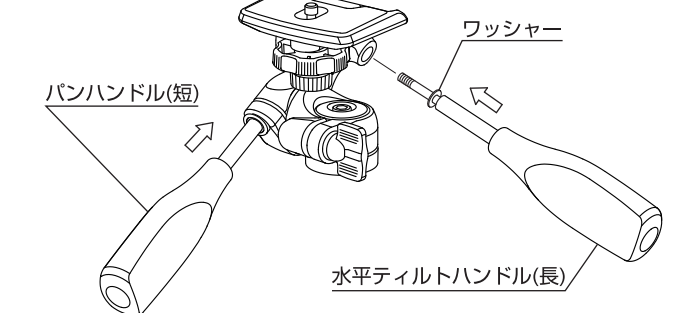
雲台の取り付け



雲台と三脚のネジを合わせます。
雲台を時計まわりにまわして、パンロックノブをきつく締め込んだから、さらに雲台を時計回りにねじ込みます。

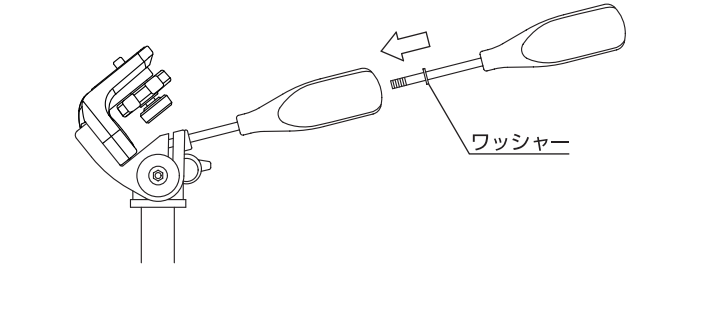
パンハンドルの取り付け方

⚠ 注意



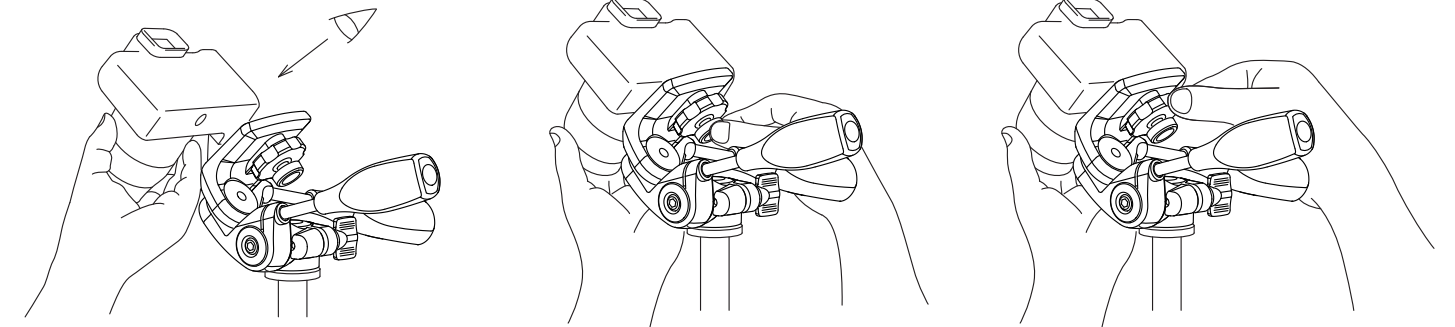
雲台に2本のハンドルを取り付けます。
ハンドルのシャフトにワッシャーが付いていることを確認してから、パンハンドル(短)、水平ティルトハンドル(長)を取り付けてください。

収納



水平ティルトハンドルを外してパンハンドルにねじ込んでください。
このとき水平ティルトハンドルの根もとに付いているワッシャーと一緒にパンハンドルへ収納してください。

カメラの取り付け

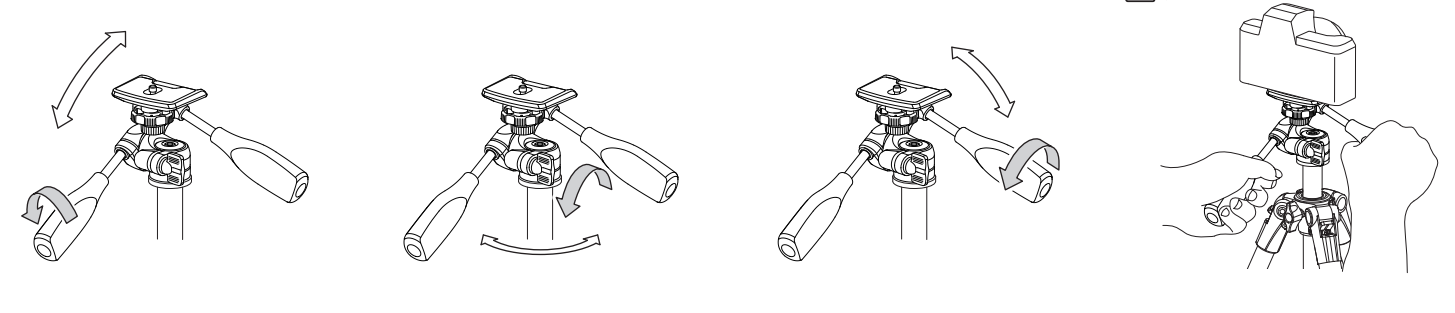


ハンドルを操作して、図示の様にカメラ台の手元をあげると、ネジ部が見えて取り付けやすくなります。

カメラをしっかり支えながら下側のカメラネジツマミをねじ込みます。

次に、上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。

雲台の使い方



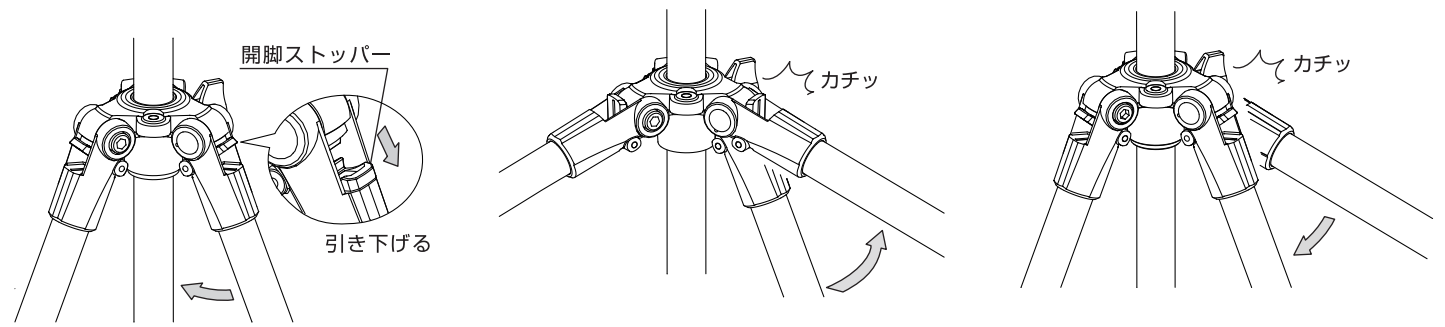
パンハンドルをゆるめると、前後にティルトできます。

パンロックノブをゆるめると、水平に回転できます。

水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調整ができます。

パンハンドル/水平ティルトハンドルをゆるめたときは、固定するまでしっかり握って操作してください。

開脚角を変える PAT

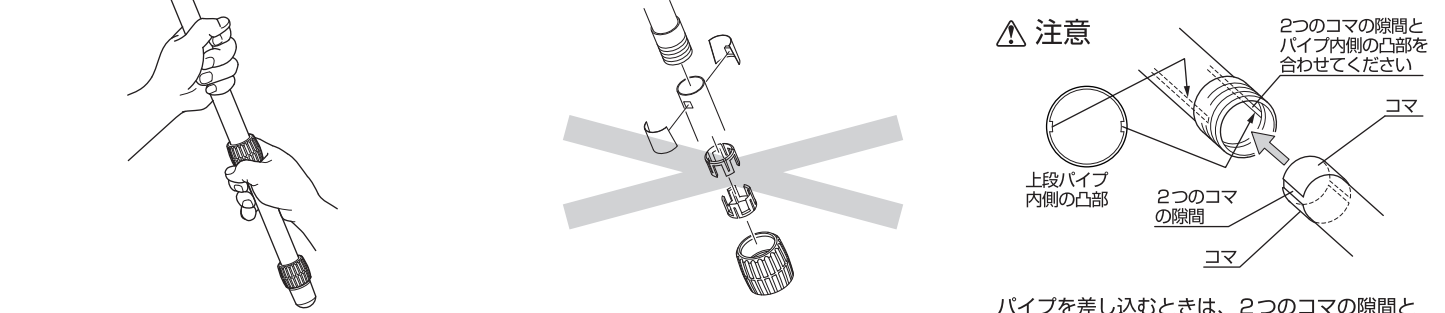


標準の開き位置から脚を少し閉じてから、開脚ストッパーを引き下げます。

脚をゆっくり引き上げて行くと開脚ストッパーがカチッと鳴ります。さらに脚を止まるまで引き上げた所がローポジションです。

さらに脚を開じて行くことで、ミドルポジション、標準開脚の順に調整することができます。

脚の伸縮



脚ロックナットをゆるめると、脚は伸縮します。
位置がきまったら、しっかりと脚ロックナットを締めつけてください

本製品は分解等しないように注意してください。
誤って脚ロックナットを外した場合は、次の図を参考に正しく組み立ててください。

パイプを差し込むときは、2つのコマの隙間とパイプの内側の凸部を合わせてください。
確実な組み立てが難しい場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
(無料修理保証の対象外です。)